

Report File

幅広い来館者のニーズに応える 高速なネットワーク環境へと刷新 —パナソニックセンター東京—

「パナソニックセンター東京」はパナソニックグループのグローバルな総合情報発信拠点として、2002年にオープンしたコーポレートショールームです。本館とスタジオ棟を備える同施設では、無線LANネットワークを中心とするネットワーク環境を見直し、お客様へより満足度の高いサービスを提供したいという思いがありました。そうした環境に採用されたのが、パナソニックEWネットワークス株式会社が提供する無線LANシステム「AIRRECT(エアレクト)」です。導入の経緯や、選定ポイントを詳しく伺いました。

PROFILE

■パナソニックセンター東京

所在地：東京都江東区有明3丁目5番1号

概要：新交通ゆりかもめ「有明駅」から徒歩3分の場所に位置し、東京ビッグサイトからもほど近い場所にあるパナソニックセンター東京。1階はSDGsをテーマにしたソーシャルアクションフロア、2階から3階はSTEAM教育などクリエイティブな力を育むクリエイティブミュージアムといった一般来館者向けの展示やワークショップスペースが用意されている。4階はパナソニックグループの取引先のお客様とともにソリューションを共創するビジネスユースフロアだ。修学旅行生から外国人まで、来館者層は幅広い。

■導入前の課題

お客様へのサービス向上のため、ネットワーク環境を見直したいという思いがあった。加えて認証システムが古く、お客様がスムーズに無線LANネットワークに接続できない課題もあった。

■導入の決め手

コントローラレスで無線LANアクセスポイントを統合的に管理できる無線LANアクセスポイント「AIRRECT AP-6810」を知り、セキュリティの堅牢さや通信速度の速さなどから導入を決断。

■導入後の効果

高速な無線LAN通信ネットワーク構築により、メディア関係者様向けの記者会見において高品質な通信回線の提供を実現。認証システムも刷新し、お客様がスムーズに無線LANネットワークに接続できるようになった。

時代の変化に合わせて、施設を日々進化させているパナソニックセンター東京。現在は1階のソーシャルアクションフロアで、SDGsをテーマにした展示を行っています。また、2階から3階のクリエイティブミュージアム「AkeruE」では昨今注目が集まっているSTEAM教育を軸とした展示やワークショップを実施するなど、先進的な学びの場を提供している施設です。

一方で、同施設では通信環境の最適化が課題となっていました。特に問題視されていたのが無線LAN環境です。

「本施設は4階のビジネスユースフロアのほか、併設されているスタジオ棟にメディア関係者を招待して、記者会見を実施するなどビジネスシーンで利用されるケースも少なくありません。そうした利用シーンにおいて、お客様への無線LAN環境の提供は欠かせません。一方で、開業当時から無線LANアクセスポイントを設置していたため、無線認証は独自の仕組みを採用しており、お客様が接続しようとするとうまく繋がらないといったトラブルが生じていました」と、パナソニックセンター東京 主務 安

江美恵子氏は振り返ります。

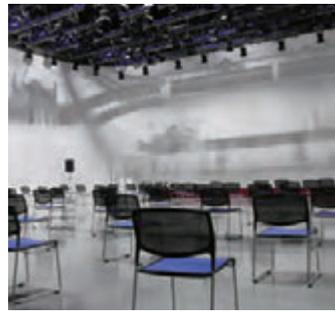
そこで導入を決めたのが、パナソニックEWネットワークスが提供する無線LANアクセスポイント「AIRRECT AP-6810」(以下、AP-6810)でした。AP-6810は、セキュリティ専用アンテナと、最新無線LAN規格であるWi-Fi6に対応した無線LANアクセスポイントで、8x8送受信アンテナを搭載しています。5GHz帯の8x8送受信アンテナに加え、2.4 GHz帯の4x4送受信アンテナを搭載していることで、高速無線LAN環境を実現できます。またセキュリティ専用アンテナを搭載することで、不正アクセスを常に

パナソニック オペレーショナルエクセレンス 株式会社

パナソニックセンター東京
主務

安江美恵子氏





1	2	3
	4	5

1 東京ビッグサイトにほど近いパナソニックセンター東京。カーボンニュートラルの取り組みを推進し、CO2ゼロショールームを実現している。2 AP-6810が設置されているスタジオでは、メディア関係者向けの記者会見などが開催されている。3 AP-6810はスタジオの壁面に設置されており、メディア関係者がその場で大容量の画像・動画データなどをアップロードできるような環境が整えられている。4 パナソニックセンター東京の2階のカフェにも無線LAN環境が整備されており、来館者は自由に接続して使える。5 (左から) 今回の導入に尽力くださったパソナ・パナソニック ビジネスサービス 薄井正人氏、パナソニックセンター東京 安江美恵子氏、パナソニックEWネットワークス 佐藤敬太。

監視し、セキュリティと通信パフォーマンスを両立します。

安江氏は「認証システムも大きく改善され、お客様もスムーズに無線LAN環境に接続できるようになりました。特にメディア関係者は画像や動画など、大容量のデータを扱いますが、それらもスムーズにアップロードできています。また、AIRRECTシリーズはクラウド型の無線LANコントローラ『AIRRECT Cloud』に対応しているため、コントローラ機器の設置や点検不要で、無線LAN環境を一元的に管理できます。AIRRECT Cloudは非常に分かりやすいGUIを採用しているため、接続状



分かりやすいGUI

コントローラレスで管理できるクラウド型無線コントローラ「AIRRECT Cloud」で、無線LAN環境を一元的に管理可能。GUIが非常に分かりやすく、ネットワークトラブルの切り分けも簡単に行える。

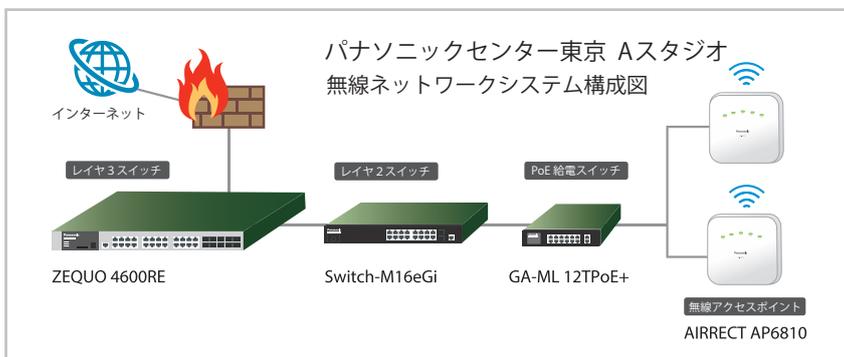
況なども一目で分かりますね」と導入によるメリットを語ります。

パナソニックセンター東京では、コロナ禍で来館が難しいお客様に対して、展示スペースやワークショップの様子などを配信するオンラインイベントも実施しています。

その映像配信を行う専用のネットワークにも、パナソニックEWネットワークスのスイッチングハブが採用されています。展示スペースなどがある本館にはL3スイッチングハブ「ZEQUO 4600RE」を、スタジオ棟にはL2スイッチングハブ「Switch-M16eGi」が導入されており、主要なネットワーク環境をパナソニックEWネットワークス製の製品にリプレイスしたことで、円滑な映像配信を実現しています。

「今後は、パナソニックセンター東京のビジネスエリアのネットワークを全て刷新することを検討しています。また、館内のカフェなどは現在、他社製の無線LANアクセスポイントを利用しており、管理が煩雑になっている側面もあります。AIRRECT Cloudによる管理のしやすさなどと比較し、お客様にとってよりよいネットワーク環境を提供できるよう、見直しを進めていきたいですね」と安江氏は今後の展望を語ってくれました。

システム構成図



■発行：パナソニックEWネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2-12-7 TEL.03-6402-5301

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このレポートの記載内容は、事例・製作時のものです。

©Panasonic Electric Works Networks Co., Ltd.